

冬来たりなば

～平成21年度当初予算編成をふり返って～



冬のハヶ岳登頂(天狗岳)

私が地方政治家として市政に関わり、23年目を迎えた。この間、平成バブルとその崩壊に直面したが、この半年ほどの急激な社会変化は初めての経験である。ここ数年來、約3000人近い人口増加が続いた本市だが、昨年未あたりから人口は停滞を始めた。この地域の製造業の生産調整の影響であろう。こうした不透明感の強い世相の下、新しい年度がスタートした。

ところで、私の趣味は山歩き。今でも四季折々、山に出かけている。危険な目にも遭ったが、今なお元気に暮らしていられるのは、自然界での危機回避を学んだおかげであろう。

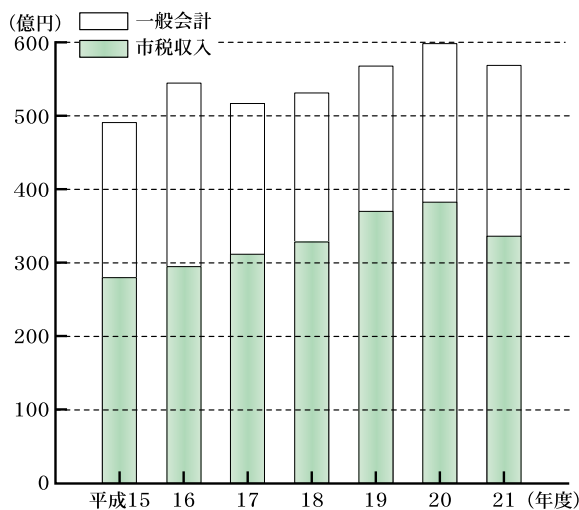
山で道を見失った時の鉄則は、「来た道を引き返し、分岐点ま

で戻る」である。先の見通しのない無謀な行動に出るのではなく、原点に返り、じっくり考えることが重要である。

山の放浪生活と下界の市長職とは状況は異なるが、自然の猛威から自らの生命を守る判断と社会の嵐から18万市民の生活を守る判断、基本的な考え方は同様にある。そんな私流の哲学により、激変期の新年度予算を編成した。環境重視の姿勢は不変とし、新たに示した予算編成上の基本方針は次の三つ。

- 一、市民生活に不可欠な行政サービス水準は堅持(セーフティ・ネットの確保)
- 二、地域経済のてこ入れを通じて雇用の安定を図る(景気・雇用対策の強化)
- 三、市民生活に支障の出ない不急な事業は見送る(健全財政の堅持)

厳しい冬の時代は、まだしばらく続くと見られる。



一般会計と市税収入の推移

しかし、「冬来たりなば、春遠からじ」である。いつまでも続く冬はない。また、冬の寒さが厳しければ厳しいほど、訪れる春の喜びはより大きいものである。

市民にとって真の春到来まで、身近な市政こそが頼りとされるよう、心新たに頑張りたい。

安城市長

神谷 学

「定額給付金のご案内」ちらしを、
本紙に折り込みましたのでご覧ください。

問い合わせ▶企画政策課(☎<71>2204)